

研修会の充実

女性教員のための「初歩から学ぶ」体育実技・授業づくりセミナー

目的

熊本県小学校教員の約6割は女性です。そして、その中には体育の授業に関する指導法等、悩みを抱えている方も多くいらっしゃいます。

そこで「初歩から学ぶ」というテーマで、女性教員を対象にした研修会を開催しました。小学校教員の多数を占める女性教員の指導力向上を図ることで、子供達の体力向上を目指しています。

開催内容

期日：平成30年8月6日（月） 会場：熊本市総合体育館 参加者：65人
○実技①：「器械運動系」 ○実技②：ラジオ体操 ○班別協議・演習
講師：実技①：大城戸 順子 教諭（山鹿市立八幡小学校）
城戸 典子 教諭（県立球磨商業高等学校）
実技②：本田 恵美 一級ラジオ体操指導士

研修会の様子

実技①「器械運動系」

主にマットを利用した器械運動や運動遊びの指導方法や場づくりの仕方等について教えていただきました。様々な動きの中で、効果的な声かけの方法など難しいものもありましたが、参加者のみなさんも自分の考えを出し合い、笑顔で活動を進めることができました。



実技②「ラジオ体操」



普段なかなか指導法を受ける機会が少ない「ラジオ体操」について、一級指導士の方から正しいラジオ体操の動きや指導法について学びました。初めて知る内容も多く、改めてラジオ体操について考え直す機会となりました。

班別協議・演習の様子

小グループで、ボールやロープ、フープ等の教材を活用しながら児童が意欲的に体育の授業に臨むための指導法や場づくりについて協議し、自分たちのグループで考えた指導法を紹介し合いました。様々なアイデアが出され、とても参考となる内容が多くあったようです。



成果

参加された先生方の声

- マット運動に対する取組のハードルが少し下がった気がしてよかったです。
- いろいろな児童の集中力を持続させながら、楽しんで活動できる場を作るヒントをもらって大変参考になりました。
- あやふやだったラジオ体操の動きもはっきり知ることができ、自信を持ってこれから指導できそうです。
- いろんな先生方と知恵を出し合い、一緒に考えられてとても心強かったです。
- △ もう少したくさんの話し合いや指導法の練り合いをしたかったです。

小学校水泳実技・水難事故防止セミナー

目的

小学校教員を対象に、本年度の水遊び・水泳の授業実施時期を迎えるにあたり、水に親しむための活動の仕方、基本的な泳ぎ方等における実技指導方法、学校プールにおける水難事故の防止及び応急処置等の方法について研修を行うことにより、本県の子供達の体力向上及び事故防止に資することを目的に開催しました。

開催内容

期日：平成30年6月7日（木） 会場：県立総合体育館プール 参加者：72人
内容：○説明：水難事故防止について
○研修①：泳法等の実技研修 研修②：事故防止・応急手当実技研修
講師：研修①：米田 拓二（県立熊本西高等学校教諭）
横田 葉子（県立菊池高等学校教諭）
研修②：日本赤十字熊本 短期講習講師3人

研修の様子

説明「水難事故防止について」

県体育保健課から「水難事故の防止について」の説明を会議室で行いました。水難事故を防止するために、事前の安全対策やプールでの監視等の仕方、事故が発生した時の対処について説明しました。日頃から、先生方には行っているものですが、これからも安全で充実した水遊びや水泳の指導を行うために再確認していただきました。

研修①「水遊び・水泳実技研修」

研修①では、低学年の水遊び、中・高学年の水泳の実技研修が行われました。水遊びでは、水中での浮き沈みのための体の動かし方やバブリング・ポビングの方法を実際に体験しました。水泳ではクロール・平泳ぎの正しいフォームや息継ぎを含めたコンビネーションの方法等、とても専門的に学ぶことができ、今後の児童への指導に役立てることができるような内容でした。



研修②「事故防止・応急手当実技研修」



研修②では、日本赤十字熊本から講師を招き、プールでの事故が発生した時の救助方法や応急手当等についての研修が行われました。いざという時にどのように動くのか、実際にプールで体験しながら学ぶ機会が少ない先生方も多く、非常に参考になるものばかりだったようです。

成果

参加された先生方の声

- 自分自身の安全に対する意識を高め、安全管理を責任もって行っていきたいです。
- 水泳の指導法など知らなかったことも多くもあり、大変参考になりました。特に平泳ぎのあおり足の改善法は、すぐにも学校での指導に使いたいと思いました。
- 具体的な救助法や応急手当の方法を実際に体験できたので分かりやすかったです。
- △ 水を怖がる児童などに特化した指導法をもっと学びたかったです。